

## 今年の夢と希望を乗せて



【富士 二鷹 三茄子】  
〔世界文化遺産・富士山 1/2撮影〕

平成26年が始まりました。これまでに培ってきたことを基盤にしながら、本校の教育目標を達成できるよう、しっかりと先を見据えた教育を推進していきたいと思っています。昨年の世相を表す漢字一文字は「輪」でしたが、今年もみんなが「輪」になって、『和』を大切にしながら、笑顔があふれる学校にしていきたいと思っています。子どもたちも自分の立てた夢や目標に向かって、一步一步前進して行ってほしいと思っています。私たち教職員も、気持ちを新たに、子どもたちのために一丸となって取り組んでまいりたいと思っています。本年もどうぞよろしくお祈りいたします。



〔1/10のあいさつ運動の様子〕

### 小・中・高連携「一斉あいさつ運動」・・・「あいさつ日本一をめざして」

45号でお伝えしましたが、毎月10日に実施している県下一斉あいさつ運動の日には、笠岡工業高校と笠岡東中学校の生徒及び先生が本校に来てくださり、本校の6年生児童と一緒にあいさつ運動を行っています。小・中・高が縦の連携を図りながら、あいさつ運動の輪を広げていきたいと考えております。地域でも、積極的にあいさつ運動にご協力いただきますよう、よろしくお祈りいたします。



合い言葉「え・お・だ・い・じ・に」  
え顔で おおきな声で だれにでも いつでも じぶんから にっぽん一あいさつのできる学校

### 「全国学校給食週間」1月24日～30日

本校では、1月の最後の週を給食週間とし、給食集会やなかよし給食（縦割り班給食）を始め、様々な学習や活動を通して、食に関する正しい知識や理解を深めるとともに、望ましい食習慣や食事マナー、感謝の心等、一層の充実を図っていきたくと思っています。ご家庭でも、お子さまと食についていろいろと話し合ってみてはいかがでしょうか。29日には、県教育長・笠岡市副市長及び教育長を始め、多数の方々には本校の学校給食の様子をご覧いただく予定です。

### 『和食』が無形文化遺産に登録！ ～見直そう『和食』文化を～

昨年12月4日に、「和食；日本人の伝統的な食文化」が、ユネスコの無形文化遺産に登録されました。和食とは、「自然を尊重し、食事を通じて家族やコミュニケーションの結びつきを強める社会的慣習」と定義づけられています。正月や田植えなど年中行事とのつながりや、新鮮で多様な食材と美しい盛り付け、優れた栄養バランス、だしとうま味といった特徴が挙げられています。外国でも和食のすばらしさが認知され、日本食ブームが広がりをみせていることはとても喜ばしいことです。ところが、我が日本では和食離れが進んでいるのが現状です。我々日本人が和食の素晴らしさを再認識するとともに、学校でも食育を計画的に進めていくことが大切であると思っています。

### お知らせ

- ◇ ALT(外国語指導助手)のスコット先生が12月に退職され、3学期からコーリー・カタオカ先生が新たに指導して下さることになりました。米国カリフォルニア州出身の男性です。日本語は現在勉強中とのことで、身振り手振りを交えながら英会話を中心にコミュニケーションを図る必要があるため、子どもたちにとっては英会話の楽しさを味わう絶好の機会ではないかと思っています。
- ◇ 12月に神島大橋すぐそばの土砂崩れにより、工事用の信号に従って通行するようになっていました。しかし、歩行者や自転車が横断する信号はついていないため、警備員の指示に従って横断するようになっていました。修復工事は夏までかかるようです。学校でも指導していますが、学校の行き帰りだけでなく、休みの日などに横断する時は、特に気をつけるようご家庭でも話をしていただけましたらと思います。

### 年頭に当たり 午年ということで・・・「守・破・離」

学生時代、少々武道をたしなんでおりましたが、そのときに師範から教わったお話を紹介します。孔子が数人の弟子を連れて町を歩いていた時、馬小屋の壊れた壁板から馬が首を出していました。孔子は『あれは牛だ。』とつぶやきました。これを聞いた弟子達は「あれはどう見ても馬です。牛ではありませんが・・・」と問い返すものの、孔子は黙ったまま答えなかったそうです。実は、孔子は、午(馬)が小屋から首を出しているから、牛(午の上)が突き抜けていると言ったのです。ここで孔子が言いたかったことは、「おまえ達はまだ修行の身で、未熟である。師の教えをそのまま受け入れなさい」ということを教えようとしたようです。この考え方は、武道の世界で使われる『守・破・離』という言葉に通ずるものがあると思います。この言葉はもともと禅の用語で、修行するときに使われる言葉だそうです。まず、師から教えられた型を忠実に守りながら修行を積み、しっかりと身につけていきます【守】。その後、師に教えられて身につけた型の外側の領域を研究することで、自分に合った型を身につけていきます【破】。その後、師から教わった型から離れて独自の型へと進んでいきます【離】。私は、この『守・破・離』という言葉座右の銘としています。何事においても少しできるようになると慢心し、基礎基本が十分身につけていないにも関わらず、次のステージに進もうとする自分がいます。いや、今はその意欲すらなかなか湧いてこない自分がいます。教師としても、一人の人間としても『守』の殻を破ることができずに、足踏みを続けています。心機一転がんばりたいと思っています(!?)。



### 3学期の主な行事予定

- 1月 16日(木) 心と命のサポート事業(絵本作家と画家による出前授業)
- 17日(金) 池田清明賞授与式
- 29日(水) 学校給食実施校訪問(県教育長, 市教育長 他)
- 2月 1日(土) アマモ種付け in 見崎海岸(希望者)
- 23日(日) 公民館芸能祭(公民館行事)
- 3月 20日(木) 卒業式
- 26日(水) 修了式

